

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	西部学校給食センター		■担当係	西部学給センター	
■評価事業名称	地場産品学校給食導入支援事業				
■事業開始年度					
■評価事業コード	401300 - 182	■会計区分	一般会計		
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり			
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上			
	■施策	04 教育環境の整備			
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの				
■法令等の名称					
■関連計画の名称					
■事業の目的と概要	学校給食センターが供給する給食に地場産品の導入を図り、地産地消運動を促進するため、地場産の野菜及び果樹を購入した経費に係り、地場産品の価格と一般流通品との差額を各給食センターの購入額の割合に応じて、予算の範囲内で補助するもの。				

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	地場産品学校給食導入支援事業補助金	学校等の園児、児童及び生徒の保護者	中央学校給食センター運営委員会へ350,000円、北部学校給食センター運営委員会へ350,000円、西部学校給食センター運営委員会へ400,000円、各々補助し地産地消運動の促進	中央学校給食センター運営委員会へ395,415円、北部学校給食センター運営委員会へ399,991円、西部学校給食センター運営委員会へ304,594円、各々補助し地産地消運動の促進

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	1,169	1,171	1,132	1,126	
人件費	2,290	2,398	2,011	2,027	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,459	3,569	3,143	3,153	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	給食における地場産品の利用率	0.158	0.321	0.359	0.335	3センター地場産品の利用率、野菜(23品目) H28 33.5% 中央30.5% 北部31.5% 西部38.8%(米については100%北上産)
04	地場産品利用率コスト	218.92	111.18	87.59	94.12	フルコストを利用率で除した数値

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>天候等に左右され、地場産品の利用率が若干下がったが、概ね順調に事業を実施できた。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>市内産野菜の生産量が限られている中、大型店と直接契約をする農家が増えてきた。納入農家の中には、高齢化により栽培をやめた農家が出てきている。</p>
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 事業廃止の影響</p> <p><input type="radio"/> 大きな不利益やリスクが生じる</p> <p><input checked="" type="radio"/> ある程度の不利益やリスクが生じる</p> <p><input type="radio"/> 不利益やリスクは小さい</p>	<p>3. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>
<p>4. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>5. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>6. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>7. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>8. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>9. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>
<p>■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)</p> <p>地場産野菜等の給食利用は、地元産の食材への理解や関心を深めることにもつながり、今後も継続することが必要である。</p>		<p>■今後の方向性</p> <p><input type="radio"/> I. 拡充</p> <p><input checked="" type="radio"/> II. 継続</p> <p><input type="radio"/> III. 縮小</p> <p><input type="radio"/> IV. 廃止・休止</p> <p><input type="radio"/> V. 完了</p>